

## 中小企業診断士養成課程トピックス

### 28期

#### 最前線を知り、応用の難しさを知る（2018年2月7日更新）

中小企業診断士養成課程での6か月間は、実務に就くために必要な能力があらゆる角度から学ぶカリキュラムがぎっしりと用意されています。中小企業支援の最前線ともいえる窓口相談での対応スキルを学ぶ演習も特徴的なものの一つです。

28期生が3日間にわたって取り組んでいるのが、創業・経営革新助言能力演習です。中小企業基盤整備機構の持つ膨大な窓口相談ケースの中から、創業と経営革新のケースを厳選して構成された演習です。講師も窓口相談のプロフェッショナルが勤めます。

これまでの4か月の演習と実習で身につけたスキルがどこまで通用するのか。修了前に腕試しを行うことで、実務に必要な応用能力の深みを体感しているところです。

